

2020年7月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2020年7月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、厳しい状況が続いている。6月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は大幅に悪化した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、大幅に減少している。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、弱い動きが続いている。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、弱い動きが続いており、厳しい状況にある。	<u>新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、厳しい状況が続いている。</u>	
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
	輸出	一段と弱い動きとなっている。	<u>大幅に減少している。</u>
	設備投資	前年の反動から製造業を中心に減少している。	<u>横ばい圏内の動きとなっている。</u>
	個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
生産	一段と弱い動きとなっている。	<u>弱い動きが続いている。</u>	
雇用	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

輸出は、大幅に減少している。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

6月短観における2020年度の設備投資は、前年並みの計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高をみると、営業再開等により徐々に客足は戻りつつあるものの、全体としてみれば前年を大きく下回っている。

乗用車新車登録台数（5月）は、前年を下回った。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

3. 生産

生産は、弱い動きが続いている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	減少している。
	電炉	弱い動きとなっている。
化学		高水準で推移している。
セメント		幾分弱含んでいる。
住設機器		弱含んでいる。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		幾分弱含んでいる。
自動車		減少している。

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、0%台後半となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響による法人資金需要の高まり等を背景に、前年を上回って推移している。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、低下傾向が続いている。

以 上